



令和7年3月6日(木) 13:00～17:30 (オンラインとのハイブリッド開催)

開催場所 大手町サンケイプラザ 東京都千代田区大手町1丁目7-2

## プログラム・登壇者

13:00	開会挨拶	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 理事長 三島 良直
13:05	来賓挨拶	日本医学会/日本医学会連合 会長 門脇 孝氏
13:10	特別講演	経産省が進める質の高いヘルスケアサービスの創出・振興に向けた取り組みについて 経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長 橋本 泰輔氏
	セッション1	医学会発、予防・健康づくりの「指針」とは?～エビデンスに基づくヘルスケアサービスの社会実装に向けて～
	■概要	AMEDの支援のもと、予防・健康づくりに関連する疾患分野の医学会が、ヘルスケアサービスにおける非薬物的介入手法について科学的エビデンスを整理した指針の策定を進めている。このたび、第一弾として一次予防領域の7つの指針が順次公開される。本セッションでは、これらの指針の内容を詳しく解説するとともに、その活用方法について掘り下げる。
13:20	■基調講演 医学会発「指針」が意味するもの	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授 中山 健夫氏
13:30	■指針紹介&総合討議 指針の詳細とその活用法～一次予防領域の7つの指針について	
	〈中年期〉 高血圧症	福岡大学医学部 衛生・公衆衛生学 教授 有馬 久富氏
	糖尿病	順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝氏
	慢性腎臓病	大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 教授 猪阪 善隆氏
	〈老年期〉サルコペニア・フレイル	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典氏
	認知症	高知大学医学部 神経精神科学教室 教授 数井 裕光氏
	〈職域〉メンタルヘルス	産業医科大学 人間工学研究室 教授 榎原 毅氏
	女性の健康	秋田大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 教授 野村 恭子氏
	モデレーター:	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター センター長 磯 博康氏
	サブモデレーター:	日経BP 総合研究所 リサーチユニット部長 メディカル・ヘルスラボ所長 庄子 育子
15:00		休憩
15:15	セッション2	サービス事業者・利用者から見た「指針」 私たちはこう読んだ! 私たちはこう使う!
	■概要	指針は作成して終わりではなく、実際に活用されて初めてその意義が生まれる。本セッションでは、事前に別室でサービス事業者とサービス利用者がグループに分かれ、それぞれの立場から医学会による指針をどのように読み、どのように活用しようと考えているかについて意見交換を行う。その結果を指針の研究開発代表者に披露して討議することで、指針の実践的なアプローチ方法について議論を深め、指針をより実効性のあるものにするための改善点や方向性を、アカデミアとサービス事業者・利用者が一体となって探っていく。
15:15	話題提供	業界ガイドラインと指針の連携にむけた取り組み PHRサービス事業協会 サービス品質委員会委員長 古屋 博隆氏
		調査から見てきたヘルスケアサービスへの期待とAMEDが取り組む今後の研究開発支援 日本医療研究開発機構 医療機器ヘルスケア事業部 ヘルスケア研究開発課 主幹 阿野 泰久
15:40	グループ発表 & 総合討議	【サービス事業者】テクリコ 代表取締役 杉山 崇氏 / TANOTECH 代表取締役 三田村 勉氏 / MTG SIXPAD 本部 メディカルプロ課 課長 山上 剛氏 / 日本電気(NEC) コンサルティングサービス事業部門 リードデータサイエンティスト 保坂 真奈美氏 / 味の素 バイオフィンケミカル事業本部 アミノインデックス事業部長 影山 陽子氏 / 富士通 ソーシャルソリューション事業本部 Healthy Living、元 厚生労働省 工藤 春華氏 / 三菱総合研究所 社会イノベーション部門 ヘルスケアビジネスグループリーダー 福田 健氏 / イブキ 代表取締役 平井 孝幸氏
		【サービス利用者:健康経営企業、自治体】ライオン 人材開発センター 健康サポート室 副主任部員 川本 和江氏 / ディー・エヌ・イー CHO室 副室長 植田 くるみ氏 / ENEOSホールディングス 人事部健康推進グループ シニアスタッフ 長谷部 優氏 / 岩手県矢巾町 未来戦略課 未来戦略係長 長峯 大樹氏
		【その他:ヘルスケアサービス開発支援】静岡県産業振興財団 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター プロジェクト推進部 ヘルスケアビジネスコーディネーター、元 静岡県職員 中村 直子氏 / 大阪府高石市健幸のまちづくり協議会アドバイザー、一般財団法人 高石市保健医療センター事務局長、前 高石市保健福祉部長 中島 孝氏
		ファシリテーター: 東北大学 副理事・東北大学病院 教授(産学連携室) 中川 敦寛氏
		7つの指針の研究開発代表者(サルコペニア・フレイルは登壇者変更) 愛知医科大学栄養治療支援センター特任教授 国立長寿医療研究センター老年内科客員研究員 前田 圭介氏
		モデレーター: 北里大学医学部 公衆衛生学 教授 堤 明純氏
		サブモデレーター: 日経BP 総合研究所 リサーチユニット部長 メディカル・ヘルスラボ所長 庄子 育子
16:35	開会挨拶	日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケア事業部 部長 林 勇樹
16:40	交流会 (現地参加者限定)	医師・アカデミア、サービス事業者・利用者、自治体関係者など、異なるバックグラウンドを持つ参加者同士が自由に意見を交換し、親交を深める貴重な機会をお見逃しなく!
17:30		



主催 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

後援 経済産業省、厚生労働省

# 登壇者紹介



門脇 孝氏

日本医学会/日本医学会連合会 会長  
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長

1978年東京大学医学部医学科卒業。1980年米国国立衛生研究所(NIH)糖尿病部門留学。1996年東京大学医学部第三内科講師。2001年東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科助教授。2003年東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科教授。2011年東京大学医学部附属病院長(～2015年)。2018年東京大学大学院医学系研究科糖尿病・生活習慣病予防講座特任教授。2020年国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長、2023年日本医学会/日本医学会連合会会長。



中山 健夫氏

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授

東京医科歯科大学(現、東京科学大学)医学部卒。米国UCLA、国立がんセンター研究所室長などを経て、2006年から現職。厚生労働省 厚生科学審議会会長、同e-ヘルスネット情報評価委員会座長、日本医療研究開発機構ヘルスケア社会実装基盤整備事業プログラムスーパーバイザー、日本医療機能評価機構EBM医療情報事業(Minds)運営委員長などを務める。



綿田 裕孝氏

順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分内分泌学 教授

1990年大阪大学医学部卒、1997年大阪大学大学院医学研究科終了。1997年カリフォルニア大学サンフランシスコ校研究員。2001年順天堂大学代謝内分内分泌学、2010年から現職。現在、順天堂大学副学部長、糖尿病学会常務理事。



荒井 秀典氏

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長

1984年京都大学医学部卒業、1991年京都大学大学院博士課程修了。医学博士。2009年京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻教授。2015年国立長寿医療研究センター副院長、2018年同病院長、2019年同理事長。日本サルコペニア・フレイル学会代表理事、日本老年医学会理事、日本老年学会理事長、日本学術会議第25期会員(第2部、臨床医学委員会)。



榎原 毅氏

産業医科大学 人間工学研究室 教授

2005年3月名古屋立大学大学院医学研究科満期退学、博士(医学)・認定人間工学専門家、IEA(国際人間工学連合)理事(2021-2024)、日本人間工学副理事長(2016-2018)、人間工学専門家認定機構・機構長、Journal of Occupational Health副編集委員長ほか。



磯 博康氏

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター  
国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究センター センター長

1982年筑波大学医学部専門学群卒。同大学院医学博士課程修了。1990年ミネソタ大学大学院MPH取得(フルプライド奨学生)。帰国後、大阪府立成人病センター医師、筑波大学医学研究科講師。助教授を経て2002年教授。2005年大阪大学医学系研究科教授。2022年より現職。ハーバード大学医学部客員准教授(1996～1997年)。環境省エコチル調査大阪ユニットセンター長(2011～2021年)。厚生労働省戦略研究リーダー(2013～2016年)。日本学術振興会大学の世界展開力強化事業実務責任者(2016年～2021年)。日本学術会議副会長、日本医学会連合副会長、大阪大学名誉教授。



阿野 泰久

日本医療研究開発機構 医療機器ヘルスケア事業部ヘルスケア研究開発課 主幹

2007年東京大学農学部卒業。2009年東京大学大学院農学生命科学研究科修了後、キリンホールディングス(株)のR&D部門にてヘルスケアのシーズ探索、臨床開発、実用化・社会実装を担当。2022年より現職にて、予防・健康づくり領域の医学会による指針策定、新たな研究手法開発の社会実装を進める基盤整備事業を担当。博士(農学)。



前田 圭介氏

愛知医科大学栄養治療支援センター特任教授  
国立長寿医療研究センター 老年内科客員研究員

2019年愛知医科大学大学院緩和・支持医療学准教授。2020年国立長寿医療研究センター老年内科医長/愛知医科大学大学院緩和・支持医療学客員教授。2023年愛知医科大学栄養治療支援センター特任教授/国立長寿医療研究センター老年内科客員研究員。



三島 良直

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 理事長

1975年東京工業大学大学院理工学研究科金属工学専攻修士課程修了。1979年カリフォルニア大学バークレー校大学院材料科学専攻博士課程修了。1997年東京工業大学大学院総理工学研究科材料物理科学専攻教授。2012年東京工業大学学長。2019年国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター長。2020年4月より現職。専門は材料工学。



橋本 泰輔氏

経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課 課長

1978年10月27日生まれ、京都府出身、東京大学法学部卒。2002年経済産業省入省。その後、経済成長戦略、地球温暖化対策、産業人材政策、原子力政策、中小企業政策などに携わり、民間企業への出向を経て、2022年7月に現職。



有馬 久富氏

福岡大学医学部 衛生・公衆衛生学 教授

1993年九州大学医学部卒業。2008年シドニー大学医学部講師。2010年准教授。2014年滋賀医科大学特任教授。2016年から福岡大学医学部衛生・公衆衛生学主任教授。医学博士、総合内科専門医、高血圧指導医、循環器専門医、社会医学系指導医。「デジタル技術を活用した血圧管理に関する指針」委員長、「高血圧管理・治療ガイドライン2025」統括委員。



猪俣 善隆氏

大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 教授

1988年3月大阪大学医学部卒業。1990年4月大阪大学大学院医学研究科博士課程入学。1994年2月米国ユタ大学医学部腎臓・高血圧教室リサーチフェローとして勤務。1998年6月日本腎臓学会大島賞受賞。2009年10月准教授(大阪大学大学院老年・腎臓内科学)として勤務。2015年10月教授(大阪大学大学院 腎臓内科学)として勤務。日本腎臓学会専門医、指導医、特別顧問。日本透析医学会専門医、指導医、常任理事。



数井 裕光氏

高知大学医学部 神経精神科学教室 教授

1989年鳥取大学医学部卒業。大阪大学医学部神経精神科入局。2002年大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室助手。2006年同講師。2018年高知大学医学部神経精神科学講座教授。現在に至る。2020年大阪大学大学院医学系研究科精神医学分野野招聘教授兼任。2024年高知大学医学部副学部長兼任。



野村 恭子氏

秋田大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 教授

1993年帝京大学医学部医学科卒業。1999年日本内科学会認定専門医。2002年ハーバード大学公衆衛生大学院修士課程修了。2003年帝京大学医学部博士課程修了(医学博士取得)。心身医学「内科」専門医。2012年帝京大学公衆衛生大学院准教授。2013年帝京大学女性医学・研究者支援センター・室長。2017年8月秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座教授。



古屋 博隆氏

PHRサービス事業協会 サービス品質委員会委員長  
テルモ株式会社 ホスピタルケアソリューション事業 部長

北海道大学大学院理学研究科修士課程にて生物科学、Harvard Business Schoolにて経営学を修学。外資系医療機器メーカーにて医療情報管理システムを日本に導入。大手化学メーカーで、M&Aを通じ、AED・除細動器などを展開。2018年よりテルモ株式会社に転身。2023年よりPSBAサービス品質委員会委員長として、業界主ルール策定などの活動を行っている。



中川 敦寛氏

東北大学 副理事・東北大学病院 教授(産学連携室)

東北大学医学部卒。脳神経外科入局。医学博士。UCSF神経外傷フェローシップ、StanfordバイオデザインGFI修了。2014年医療現場に企業開発研究者を受け入れるカスタマーディスカバリープログラム(アカデミック・サイエンス・ユニットASU)を設立。これまで69社、1750名以上を受け入れ、年間100社ほどデザインヘッドとして医療・健康の課題解決に取り組む。



堤 明純氏

北里大学医学部 公衆衛生学 教授

1987年自治医科大学医学部卒業。福岡県内医療機関にて地域医療に従事後、1997年久留米大学医学部助手(環境衛生学講座)。2000年久留米大学医学部講師(環境衛生学講座)。2001年岡山大学大学院助教授(衛生学・予防医学分野)。2006年産業医科大学教授(産業実務研修センター)を経て、2012年より北里大学医学部教授(公衆衛生学)。

「指針」の詳細はこちら

ヘルスケアサービス事業者・利用者向け情報サイト

<https://healthcare-service.amed.go.jp/>

